

北総線 更なる値下に挑戦！

答えて!! 滝田県議!! vol.3

まちづくり
特集

Q & A

ちば自民党
政調会長が
答えます！

Q 北総鉄道運賃はどうなるの!?

A 更なる運賃値下げに挑戦します!!

短期的には経営安定化が最優先。
県+沿線6市による活性化協議会を推進。

2022年10月1日、北総鉄道は通学定期65%（全体で15.4%）の運賃値下げを実施。

国内物価が高騰する中、画期的ニュースとなりました。

しかしながら、この値下げにより北総鉄道は現在約100億円の年間旅客運輸収入が約19億円（▲20%）減収の見込みとなります。当面は長期債務（約600億円）の圧縮と経営安定化が最優先となるとともに、県及び沿線6市は沿線活性化を進めることで、同社旅客数増の支援に取り組まなければなりません。

また、ちば自民党政調会長として今後も、成田空港機能強化と併せ、国策としての都心直結線（北総線の東京駅乗り入れ）を進める中で、更なる運賃値下げに挑戦します。



Q Google千葉ニュー進出への滝田県議の対応は!?

A 千葉県と地元（印西市&栄町）地域貢献：印旛沼・手賀沼の水環境保全や観光振興についての支援を要請!!



Google社データセンターが今春、印西市鹿黒南に竣工。世界一のIT企業進出は千葉ニュータウンの都市ブランド力UPに直結。

滝田県議は、Googleアジア・太平洋地区トップのケン・シア氏にアテンドし、印西市長・議長・教育長はじめ印西市幹部との会見を設定。「千葉県のデジタル社会推進」「印西地区のデジタル人材育成」を要望しました。

併せて目前に迫った竣工を前に、滝田県議は千葉県とGoogle社の橋渡し役としても活動。同社に「印旛沼水環境保全」や「手賀沼水環境保全」の取組み事例や地元観光振興事業を説明し、地域貢献についても要望。今後も滝田県議の政治力が注目されます。

滝田敏幸 PROFILE

1960年 印西町大森生れ
大森小、印西中
千葉県立我孫子高校
同志社大学卒業
1999年 印西市議会当選（2期）
2007年 千葉県議会当選（4期）
2008年 印西市消防団副団長
2010年 総合企画常任委員長
2011年 千葉県ラグビー協会会長
2013年 総務防災常任委員長
2016年 農林水産常任委員長
2021年 千葉県監査委員
2022年 自民党（千葉県）政調会長

みんなの意見を
お聞かせ下さい

印旛沼・手賀沼や里山の
自然環境を守ってほしい

北千葉道路を
早く開通させて
ほしい

給食費の
無償化を
進めてほしい



たきた敏幸 事務所
住所：印西市木下1521
電話：0476-37-4689



ブログ・Facebook 毎日更新中！

政調会長 たきた敏幸、県政を動かす!!

ちば自民党・政策8本柱を作成しました！



① 新型コロナ、物価高騰への対応

▶ 噫緊の課題である新型コロナ、物価・資材等の高騰に速やかに対応します

- ・ウィズコロナ社会に対応した医療体制を整備し、感染が拡大しても安心して社会経済活動が継続できる環境をつくる。
- ・物価の高騰に対応するため、国とも連携して機動的な生活者・事業者の支援に取り組む。

② 安全・安心な暮らしの確保

▶ 頻発する災害への備えを強化、犯罪・事故のない暮らしの実現を目指します

- ・河川堤防や海岸護岸などの整備、流域治水や急傾斜地対策の取組を推進する。
- ・消防団・自主防災組織の育成・活性化、避難所の充実のほか、関係機関が連携して災害に速やかに対応できる体制をつくる。
- ・飲酒運転の撲滅、交通事故の防止、電話de詐欺対策を強化し、安全で安心な暮らしづくりを目指す。

③ 医療・介護・福祉サービスの充実

▶ 「誰もが安心」「長生きが幸せ」と実感できる医療・介護・福祉サービスを充実します

- ・医師・看護師の確保策の強化など、地域医療の充実を図る。
- ・介護人材の確保に努めるとともに、特別養護老人ホーム等の施設整備を促進する。
- ・重度心身障害者(児)や、医療的ケア児等への支援を充実する。

④ 子育て、教育環境の整備

▶ 全ての子供の健やかな成長を社会で支える環境を整備します

- ・子供医療費助成や学校給食費無償化の制度拡充など、子育て環境の充実を進める。
- ・児童虐待ゼロに向けた児童相談所の機能強化、ヤングケアラーやフリースクール支援など、社会全体で子供を守り、育てる仕組みをつくる。
- ・私学教育の振興、ICTを活用した教育環境の整備、教科担任制の導入等による学力の向上、教員の確保や多忙化対策を推進する。

⑤ 企業誘致、産業振興、地域の活性化

▶ 戦略的な企業誘致と地域の産業振興を図り、県内経済を活性化します

- ・戦略的な企業誘致、産業用地の整備により、地域の雇用の場の創出を図る。
- ・地域経済や雇用を支える中小企業の生産性向上や事業の継続・拡大を支援する。
- ・観光振興に加えて、移住やワーケーションなど、新たな動きを取り入れた地域活性化を支援する。

⑥ 全国屈指の農林水産業の更なる振興

▶ 生産力・販売力を向上させ、農林水産業の活性化を目指します

- ・担い手確保の強化とともに、生産性の向上と省力化のためのスマート機器の導入を促進する。
- ・米価安定のための転作支援、園芸や畜産、水産、林業の収益向上のための施策を充実させる。
- ・県産農林水産物のブランド化、海外を含めた販路拡大を図る。

⑦ 道路・交通ネットワークの強化

▶ 移動と交流を支える道路網の整備、各種交通手段の維持・確保を図ります

- ・北千葉道路、圏央道の早期開通、新たな湾岸道路・千葉北西道路の早期具体化など、「大動脈」となる幹線道路の整備を進める。
- ・鎌ヶ谷連絡道路や長生グリーンラインなど、幹線道路とつながるアクセス道路の整備を進め、利便性の向上や渋滞の解消、半島性からの脱却を図る。
- ・鉄道、バスなどの公共交通網の維持・確保、移動手段の充実を図る。

⑧ 脱炭素化、デジタル化等の推進

▶ 持続可能で豊かな社会づくりに向けて、脱炭素化、デジタル化などの施策を着実に推進します

- ・太陽光や洋上風力等の再生可能エネルギーの導入促進など、脱炭素化を着実に進めるとともに、技術開発の支援などにより環境保全と経済成長の好循環を目指す。
- ・行政手続をはじめ、全ての県民がデジタル化を実感できる基盤整備や人材育成を進める。
- ・SDGsや女性活躍、障害者社会参加など、分野をまたがる施策の推進に取り組む。